

自 年 月 日 至 年 月 日

松本記録  
昭和二十五年十月  
遺族より提供を受く

支那内乱關係一件 國民軍北伐關係  
張學良對南方妥協問題  
東三省易幟問題

第 卷

松本記録  
昭和二十五年十月  
遺族より提供を受く

支那内乱關係一件 國民軍北伐關係  
張學良對南方妥協問題 東三省易幟問題

第 卷

松A  
6  
1  
5  
-2-8  
-2

REEL No. A-0783

0594

アジア歴史資料センター

A6151-2-8-2

REEL No. A-0783

0595

アジア歴史資料センター





右大綱條々別着し、上政界各大家より召集  
 詳細討論上何分儀、至急答覆せらるべし  
 左報告す

MARUZEN II

P.V.M. 54

7

署名科課長等より召集討論討論研究の旨  
 左記  
 東三省の易制改制問題、蔣委員長（介石）より  
 属次の子より指示、以て知らしめ、新政府組織  
 大綱の送附を付、実行の便宜を以て至急討  
 議せらるべし、然るに、新政府の組織、右大綱より  
 一々東三省の適用不能、其點を以て、意見  
 附し、今、閣下より、本總司令部に於て、中  
 央命令の提出討論の上、適者も、至急討議せらるべし

MARUZEN II

P.V.M. 54

6

4

奉天 十月二十四日 佐藤  
 田中 外務大臣  
 第七五五号  
 任電第七五五号之附  
 者政府原議長於成實ノ語ニ依リハ二十七日議  
 長石君ニ於テ大官要人連署議ニ上南滿政府  
 了委員任所ノ電報中ノ次第後ヲ指揚スル事  
 決議ニ日カ今二十七日午後南滿ヨリ於學校  
 以下十三名ノ委員ニ任命スル趣ノ電報到着  
 日ニ付查明二十四日ヲ青天白日復ヲ指  
 事トシ其ノ旨各官長ニ通告シ同日ハ官公署ハ一

MARUZEN II

P.V.M. 54 9

3

南  
北  
各  
場  
十二月二十  
九日青天  
白日復  
指揚

奉天 十月二十日 佐藤  
 田中 大臣  
 第七五五号  
 青天白日復ハ既電ノ通東年一月百ヲ其ノ  
 前修年ヲ指揚公ニ下ル其ノ旨各方面ニ  
 布在ヲ發シ日ニ趣 志力有リ如ク本年中ニ指  
 下下ニ著手スルハ國民政府側ヨリ民國十  
 七年中ニ全國統一形式ヲ取リ得ルニ一要求  
 了ニ依リハ一始ニ尤モ支那側ヨリハ方途ノ  
 如何ヲ通告シ指揚ニ 眞偽ヲ確カスルニ  
 附シテ一併

MARUZEN II

P.V.M. 54 8

5

陸田夕 昭和三十九年十二月三十日  
 電報 十二月二十九日午後五時五分發  
 多謀以事完 奉天 機關  
 奉電和二三五号  
 各地城內ハ本朝一斉天白日旗ヲ掲ケ官  
 衙ハ國民黨旗ヲ青天白日旗ヲ掲ケ

MARUZEN II P.V.M. 54 11

股ニ休職ニ被服廠ニ于製造中ノ青天白日旗  
 ヲ配布ニ成ルハク一般市民ニモ廣ク掲揚スル  
 ハニ事トナレ趣キテ

2 MARUZEN II P.V.M. 54 10

REEL No. A-0783

0600

6

十二月三十一日  
 林總領事  
 第七五五号  
 第三卷ハ既電ノ通新國境ヲ指稱セシ供未  
 新制度ニ其ノ旨腦若ノ類稱ニ其新ノ旨  
 以茲迄般ノ事情ノ関シ三月一日楊守經ノ藤村  
 領シハ能左ノ通リ  
 今同一國境指稱ハ新制度ノ組織ニ楊守  
 八島橋貫ノ相談ノ旨ノ旨ノ旨ニ國民政府  
 十二月二十四日於此於此於此東北邊防司令長

MARUZEN II P.V.M. 54 12

官ニ於此相入萬福麟、同副司令ハ此所發表  
 内報分ノ急ニ三月九日新國境指稱及國民政府  
 楊楊也越々ノ果シテ其ノ任命發表前ノ  
 未日承知ハ之ヲ新制度ハ熱河ハ知事商トナリ地  
 政治分令ニ隸屬シ未日相入東北政府委員  
 統轄ニ國民政府ハ附屬何成清外一ニ名ノ如ク其  
 一人未日著現社ノ軍民兩長官(吉林ハ作相  
 長兼任一名)熱河ハ百希湯玉麟、袁金鐘  
 王樹翰、劉清、劉哲、莫德惠等十三名ハ  
 至十五名ノ政府委員トシ奏奉于吉林ハ黑龍

2 MARUZEN II P.V.M. 54 13



江ノ三浦ニテ者政務委員九名乃至十三名ヲ選  
其有者ハ右者ナリ此所スリ内閣也  
又此委員ノ稱介在ノ要ナク容シテ急ニ新閣  
ヲ組織シヨリハ南方ノ形勢變化等ノ注意ヲ拂  
ハス又東亞者ノ之ヲナシ国民党下ノ急進運  
動ノ果々答ノ影響ヲ顧慮セザレバ如何ニシテ  
亦ニ其日不満足ノ感ニ居ル處ナリ自分ハ新  
制度ニハ参加ス居ラス又其ノ使命ニ至ラズ  
ケテ考テナリト稱シ然レテ年ノ以テ満シテ  
ナリ

MARUZEN II P.V.M. 54 14

中道カ如上ノ通り果シテ閣内及政治組織ノ  
善悪ニ何者ナリ知ラザルニハ此委員ニ對シ  
本人トシテ從來ノ關係ヲ見テ肯シ難キ處  
ナリト其ノ稱カ斯ル(如中)言辭ヲ用ヒテ委員  
ノ稱ヲ云フニ居ルハ去ルニテ十八日東橋カ  
學長ニ對シ閣内閣外ノ不可ヲ論ハテ激論  
ヲナシヨリト情報ヲ日本人側ニ流布スル  
已ニ閣内閣外ノ日本人側ノ感情ヲ迎合シ  
知スル者ト甘言ト察知ラズル者ナリ

MARUZEN II P.V.M. 54 15